



むなかた市議会だより

平成22年12月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会運営委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市議会ホームページ＝<http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php>
●メール＝gikai@city.munakata.fukuoka.jp

予防接種事業などを拡充 ―平成22年度一般会計補正予算―

一般会計予算では、給与改定に伴う人件費の削減と、新たに「子宮頸がん予防ワクチン」などの予防接種事業の拡充や、「元気なまちづくり基金」の創設などで3億1204万円を増額する予算の補正が提案され、賛成多数で可決しました。

予防接種事業などの拡充

拡充された予防接種などの事業内容は次のとおりです。ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用への助成と妊婦のHIV・1抗体検査費用の助成で、助成開始は本年1月1日からです。



元気なまちづくり基金の創設

元気なまちづくり基金（右下「基金創設」記事参照）は、今までの「人づくりでまちづくり基金」27億円に、新たに2つの分野を加えるため3億円を積み上げ、30億円の基金として再構築するもの。新たな分野として

新しい年を迎えて



議長 田中時宗

新しい年を迎え、初春のお慶びを申し上げます。昨年は一年半をかけて議論し、議会の最高規範としての議会基本条例を

制定しました。また、各コミュニティで議会報告会や市民との意見交換会などを実施してきました。今年にはさらに改革を進めるために政務調査費、費用弁償、議員研修費などのあり方を議員全員で議論する予定です。今後とも、市民の皆様から信頼される議会づくりを目指します。

副議長就任あいさつ



副議長 花田利和

11月1日の臨時会にて、吉田前副議長の辞任に伴う副議長選挙が行われ、花田利和議員が副議長に選出されました。

このたび、副議長に就任いたしました。その職責の重さを痛感しているところです。

市議会に課せられた使命の重大さを改めて肝に銘じ、市民生活向上のため誠心誠意努力をいたします。議長を補佐し、議員が一丸となるように努めてまいりますので、今後ともよろしく願います。

元気なまちづくり基金創設

賛成多数で可決

市民協働推進を目的とした「人づくりでまちづくり基金」に、新たに文化芸術振興、世界遺産登録活動推進を目的に加えた「元気なまちづくり基金」が創設されます。基金は30億円。その運用（利息）で、3分野の事業目的に沿った補助事業が平成23年度から実施される予定です。



大島海洋体験施設の指定管理者を決定

全員賛成で可決

大島港大島海洋体験施設の指定管理者を、株式会社むなかた大島に指定する議案を全員賛成で可決しました。

株式会社むなかた大島は、漁協や大島の島民、同島出身者、株式会社まちづくり宗像、宗像観光協会、釣具メーカーなどの出資で、大島の活性化を目指して平成22年4月に設立されました。指定管理期間は平成23～24年度の2年間で、管理料と



大島海洋体験施設「うみんぐ大島」の防波堤。左側が釣堀

平成23年4月に市の機構を変更

賛成多数で可決

今回の機構改編では、子ども施策をより充実・強化するために、教育部門と福祉部門とで担当していたものを一本化し、子ども部を新設。環境施策の推進には、市民との協働が密接にかかわることから市民協働部と市民環境部を統合し、市民協働・環境部を設置。水道事業の広域化に伴い、下水道部を廃止し、都市建設部に下水道課を設置します。

市は、部の改編に伴って、課や係も、行財政改革に沿った簡素で効率的・効果的、新たな行政ニーズへの対応、市民に分かりやすい組織という観点で、課の名称を人権・男女共同参画推進課とするよう、総務常任委員会での付帯決議を付して、賛成多数で可決しました。

また、男女共同参画推進課と人権対策課を人権政策課として統合することについて、男女共同参画の取り組みを後退させないイメージを市民に与えるため、課の名称を人権・男女共同参画推進課とするよう、総務常任委員会での付帯決議を付して、賛成多数で可決しました。

議会改革調査特別委員会を設置

議会ではこれまで、議員定数の削減や本会議、常任委員会及び予算・決算委員会のインターネット中継など、議会改革を進めてきました。今回さらなる改革のために、議員全員で構成する「議会改革調査特別委員会」を設置し、政務調査費、費用弁償などについて議論していきたいと考えております。議会報告会でもみなさんからいただいた意見なども参考にしていきたいと思います。

教育環境充実のため
教室にエアコン設置を

新留 久味子

猛暑日が続いた昨年の夏。市内中学校では教室の温度が36度に達した。国は最も学習に望ましい条件は、夏期で25度から28度と定めている。

問 教室に冷房設備を設置できないか。国が3分の1交付する安心・安全な学校づくり交付金の対象事業にならないか。

答 冷房設備の設置は国の交付金対象事業。全教室に冷房設備を設置するには膨大な経費がかかることから、中学校から順次扇風機を設置する方向で検討している。



問 玄海小の移転に伴い保健室の設置はどのように検討しているか。

答 現在実施設計を行っている。保健室を玄海中と共有する考え方もあるが、小学校における保健室の機能が損なわれないように、小学校、中学校両方に保健室を設置する予定。

教育委員会の市民活動に対する
圧力について

植木 隆信

問 教育委員会は6月25日、「場外馬券売り場を考える会」のチラシに対し不当な警告書を出した。その誤りを議会で指摘され、関係者に謝罪した。その後、教育委員会は教育部長などの処分を行なった。その経過と処分の軽重を問う。

答 議会の指摘後、てんまつ書を受け、教育委員会で慎重に審議し、処分を決定した。処分内容は、市懲戒処分の基準などをもとに非違行為の種類や過失の度合いなどを総合的に判断した。

赤間駅北口について

問 バスなどの乗り入れ箇所は狭いため、コーナードが割れている。抜本的な対策を求める。

答 車道が広がることで駐車車両の増加が予測され、事故防止の観点から改修は考えていない。縁石の修繕や反射板の設置、長時間駐車を取り締まりなど安全性の確保に努めたい。



高齢者のセーフティネットを
どう築くか

末吉 孝

問 厚労省の介護保険制度見直し案では、軽度の高齢者を介護保険の対象外にすることや、高齢者の負担増が目白押しで、本市の高齢者介護に重大な影響があるのでは。

答 介護保険が利用しにくくなり介護の重度化につながると懸念している。地域密着型介護施設の整備計画が、相次いで住民の反対にあっているが、その理由は、また市のかかわり方に問題はないのか。

答 施設の必要性は理解されているが、自分たちの住環境が変わることが



請 願

宗像市の小中学校で「平和学習」の出校日を復活させることを求める請願

(請願者) 8・6むなかた平和のつどい実行委員会
代表 白木正則さん

(要 旨) 本市の小中学校で、8月6日を平和学習の出校日として復活させるよう求める。

(審査内容) 8月6日の平和学習は大切なことであるが、出校日として児童・生徒のみでの平和学習とするのではなく、親子や市民とともに平和を考える事業を行うほうが望ましいという理由から賛成多数で趣旨採択となりました。

市内10会場で議会報告会を開催

議会報告会では、平成22年9月議会で審議した議案の報告と参加者との意見交換を行いました。その中で、議会や行政に対する意見、要望などを直接伺うことができました。今回寄せられた多くの意見、要望などを整理し、これからの本市の施策、事業などに生かす元氣なまちづくりにつなげていきたいと思います。

議会が丸となって、開かれた議会、身近に感じたいと考えております。なお、議会報告会の中問報告書は、各地区のコミュニティ・センター、宗像ユリックスなどに配置しています。また、議会のホームページでも閲覧できます。



吉武地区コミセンでの報告会

意 見 書

1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

TPP（環太平洋経済連携協定）への対応に関する意見書

賛成多数で可決

(要 旨) TPPは食料自給率の低下を招くとともに食の安全性を脅かし、国民に大きな不安を与えることになるため、次の項目について対応するように強く要請する。

1 わが国及び本市の農業に対する壊滅的な打撃を与えるTPP交渉には、参加しないこと。
2 TPPは、全品目での関税撤廃だけではなく、さまざまな分野での包括的な交渉が行われ、農林水産分野以外にも国民の経済や生活にかかる多様な分野に影響があることを国民に十分説明すること。
3 「多様な農業の共存」を基本理念として、農業・農村の多面的機能の発揮や食料自給率の向上など食料安全保障の確保、農業・農村の振興などを損なわないよう対応すること。

(審査内容) 男女共同参画を強く推進してほしいという趣旨は理解できるといふ理由から賛成多数で趣旨採択となりました。

(提出先) 内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

有害鳥獣対策、特に
イノシシ対策について

花田 鷹人

問 イノシシによる農作物被害、イノシシの捕獲頭数、電気柵設置の状況は。

答 実際の被害状況は不明だが、捕獲頭数は平成21年度396頭で前年度より倍増。電気柵設置面積も前年比で約5割増えている。

問 捕獲時の猟犬のけが、事故への補償を求める。

答 治療費助成を検討したい。

問 広域的なイノシシ対策に取り組む計画は。

答 平成22年度中に福津市、宮若市の3市で連絡協議会を設置。広域的な



水田の周囲に設置された電気柵

新たな観点で企業誘致を

問 本市のインフラ整備状況から、大企業誘致は無理と考える。大学と連携し、大学発ベンチャーを誘致してはどうか。

答 住環境に配慮し、研究機関などを誘致したい。

就労までの切れ目ない
発達支援システムを

小島 輝枝

本市の発達支援の先進的な取り組みは評価する。支援のすき間を埋めながら就労までのシステム構築がこれからの課題である。

問 相談件数が増え、業務も多岐にわたり増大している発達支援センターの人員増が必要では。

答 平成23年度、非常勤職員1人の増員を検討している。



発達支援センター窓口

問 各学校の特別支援教育コーディネーターは、任務に専念できるよう専門にするべきでは。

答 研修会を定期的に開催し、特別支援教育に関する意識の向上に努めている。

次期定例会の
お知らせ

日程	内容
2/25 金	本会議（議案上程、提案理由の説明）
3/1 火	本会議（代表質問）
2 水	本会議（一般質問）
3 木	本会議（一般質問）
4 金	本会議（一般質問・大綱質疑）
8 火	総務常任委員会
9 水	社会常任委員会
10 木	建設産業常任委員会
15 火	予算第1特別委員会
16 水	予算第1特別委員会
17 木	予算第2特別委員会
18 金	予算第2特別委員会
22 火	予算第2特別委員会
23 水	委員会予備日
29 火	本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）

▼3月定例会で審査する請願の締切は2月18日（金）です。

▼定例会は傍聴することができます。詳しくは議会事務局にお尋ねください。

議事録公開は2月下旬

本会議の議事録は、市役所本館1階情報コーナーや市内の図書館、コミセンなどで閲覧できます。また、市ホームページでも閲覧できます。12月定例会の議事録は、2月下旬の公開予定です。

録画映像を公開中

12月定例会の録画映像を市内公共施設のテレビ、または市ホームページで公開しています。

●● 提出議案と議決結果 ●●

【全員賛成で同意・可決した議案】 ＊は花田洋議員欠席

議案名	議案名
人権擁護委員の候補者の推薦について＊	字の区域の変更について
人権擁護委員の候補者の推薦について＊	市道路線の認定について
宗像地区事務組合理約の変更について＊	市道路線の変更について
宗像市外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例について	福岡県大島港大島海洋体験施設の指定管理者の指定について
宗像市大島保健センター条例を廃止する条例について	平成22年度宗像市赤間駅北口整備事業特別会計補正予算（第2号）について
宗像市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	平成22年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
宗像市介護予防デイサービスセンターの指定管理者の指定について	平成22年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
宗像市コミュニティ・センター赤間会館の指定管理者の指定について	平成22年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
宗像市コミュニティ・センター池野会館の指定管理者の指定について	平成22年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第2号）について
宗像市コミュニティ・センター岬会館の指定管理者の指定について	平成22年度宗像市特定環境保全等下水道事業特別会計補正予算（第2号）について
宗像市市民活動交流館条例の一部を改正する条例について	平成22年度宗像市下水道事業会計補正予算（第2号）について
住居表示の実施に伴う町の区域の設定について	宗像市議会委員会条例の一部を改正する条例について

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○＝賛成した人 ◆＝反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	杉下 啓恵	神谷 建一	岩木 久明	花田 鷹人	福田 昭彦	西山 隆	小島 輝枝	新留久味子	石松 和敏	花田 洋	小田 英俊	日隈 一憲	吉田 益美	石橋 文恵	田原 敏美	植木 隆信	末吉 孝	花田 利和	三浦 貞雄
宗像市部設置条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○
宗像市人づくりでまちづくり基金条例の全部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	◆
平成22年度宗像市一般会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○
宗像市の小中学校で「平和学習」出校日を復活させることを求める請願	趣旨採択	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○
宗像市の行政機構に男女共同参画推進課の存続を求める請願	趣旨採択	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○
T P P（環太平洋経済連携協定）への対応に関する意見書について	可決	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆

＊田中時宗議長は、議員として議決に加わる権利を有しません。

新・常任委員会、議会運営委員会名簿

平成22年第2回臨時会（11月1日）

常任委員会・議会運営委員会とは

議会の内部組織として、3つの常任委員会と議会運営委員会を設置しています。常任委員会は本会議における審議の予備的審査や調査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する事項などを協議します。

委員会名	総務常任委員会	社会常任委員会	建設産業常任委員会	議会運営員会 ＊平成22年12月13日
担当する事項 （平成23年4月からの所管）	総務部、経営企画部、教育委員会、監査委員及び公平委員会の所管に関する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項	市民協働・環境部、健康福祉部及び子ども部の所管に関する事項	都市建設部、産業振興部、下水道課及び農業委員会の所管に関する事項	議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項
委員長	小島 輝枝	植木 隆信	西山 隆	石橋 文恵
副委員長	岩木 久明	神谷 建一	花田 鷹人	西山 隆
委員	田中 時宗	三浦 貞雄	田原 敏美	花田 利和
〃	末吉 孝	花田 利和	石橋 文恵	植木 隆信
〃	小田 英俊	日隈 一憲	吉田 益美	小島 輝枝
〃	石松 和敏	花田 洋	新留久味子	杉下 啓恵
〃	杉下 啓恵	福田 昭彦		

- ▼常任委員会は傍聴することができます。傍聴者の定員は15人で、会議の開始時間は通常午前10時です。
- ▼常任委員会の審議の様子は宗像ユリックスや各地区コミュニティ・センターなど市内公共施設、市ホームページで視聴（生中継、録画映像）できます。